

令和5年度事業計画

基本方針

わが国の経済は、長引くウクライナ危機、歴史的円安などの影響を受け、あらゆる原材料価格が高騰し、それに伴う物価上昇が私たちの生活を直撃しており、今後も予定されている値上げがより一層国民生活を疲弊させる恐れがあります。

一方、雇用情勢は急速な少子高齢化が続くことによる人口減少社会において、65歳以上の高齢者人口は、令和4年9月の推計では3,267万人、総人口比では29.1%と過去最高となっております。不足する労働力を補うため、定年延長や継続雇用制度等も随分と社会に定着してきましたが、現実には更なる労働力人口の減少が懸念されており、高年齢者の労働能力をいかに有効活用するかが国を挙げての重要課題となっております。

このような状況の下、生涯現役社会をめざし、元気な高年齢者が活躍するシルバー人材センターが果たす役割はますます重要であり、市民からの期待も一層増しております。しかしながら、国の行財政改革による運営費補助金の削減や経済不況に伴う受注の減少、また労働環境の変化による会員数の減少等、シルバー人材センターを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。こうした現状を克服するためには、今まで以上に自助努力を重ね、公益社団法人として真に地域住民に信頼され、必要とされる団体となるため、公益性のある事業展開を念頭に組織体制の強化とともに会員増強、就業機会の拡大を積極的に図る必要があります。

黒石市をはじめとして各関係機関の支援と協力を得ながら、会員、役職員が一体となって連携を更に強化し、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、安全・適正就業を基本に更なる事業の基盤拡大と充実の発展に努めます。

事業実績目標

(1) 会 員 数	220名
(2) 受託件数	2,200件
(3) 就業延人数	16,000人日
(4) 契約金額	74,250千円

1. 事業実施計画

(1) 就業機会提供事業

高齢者の生きがい充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、一般家庭、民間企業、官公庁等から臨時的かつ短期的な業務又はその他の軽易な業務を請負・委任又は派遣の形式で引き受け、これらの仕事を希望する会員に提供します。

(2) 有料職業紹介事業

臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る）を希望する会員を対象に、公益社団法人青森県シルバー人材センター連合会と連携のもとに、有料職業紹介事業を行っていきます。

(3) 労働者派遣事業

少子高齢化による労働力の減少もあり、高齢者の雇用情勢は法改正をうけ多方面で変化が見られ、センターで扱う就業形態も従前からの請負・委任による就業又はその他の軽易な業務に係る就業等、より多様化してきています。高齢者活用・現役世代雇用サポート事業により、人手不分野及び現役世代を支える分野へ拡大を図り、会員と発注者のニーズを的確に把握しながら労働者派遣事業に積極的に取り組みます。

2. 就業機会確保事業

(1) 安全・適正対策推進事業

基本となる安全就業を全員で認識し、事故ゼロを目指し組織を挙げて取り組みます。「安全は全てに優先する」を念頭に、具体的な事故防止対策の策定と事故を未然に防ぐため、安全就業の遵守と徹底、安全・適正就業対策推進委員による安全パトロールを定期的実施し、就業時の安全一声掛け運動等による注意喚起を積極的に推進します。また、事務局だより等による啓発とともに、各種作業講習会を実施し安全就業の徹底を図ります。

また、受注内容及び会員の就業形態に係る法令順守を基本に、公平な就業機会の提供を前提として、就業の分かち合いにより多くの会員が働く喜びと生きがいを共感できるよう、「就業の基準に関する要綱」を基本として就業情報の公開、ローテーション就業の推進と就業参加の呼掛けを積極的に行います。また、今年度も就業率の向上のため未就業会員の体験就業並びにアンケート調査等を実施しながら、会員が働く喜びを享受できるよう適正就業の推進に努めます。

(2) 普及啓発活動及び就業機会の提供

シルバー人材センター事業を地域社会に広く理解・浸透させ事業拡大を図るには普及啓発活動は大きな役割を果たします。ホームページによるPR、地元新聞等のメディア媒体の利用やリーフレットの配布、ポスティング等を有効活用し、様々な機会を通じて普及啓発に努め関係機関との連携を図りながら、企業、各種団体、個人家庭へのPR活動を強化し普及啓発活動を推進させます。

また、就業機会の更なる拡大のため、会員、役職員が一体となり積極的に就業機会の開拓に努めると共に、均等に就業機会を与えられるよう講習会などを開催し自己の能力を広げ、公平に就業機会が提供できるような体制づくりも進めてまいります。

(3) 福祉・家事援助サービス事業

超高齢社会が進展する中、福祉・家事援助サービス事業の需要が年々増加してきている現状を踏まえながら、受注体制の強化のため、実践に即した講習会を実施すると共に、発注者、就業会員の多様なニーズを的確に把握し、希望に合った仕事の紹介に努めます。

福祉・家事援助サービス事業の充実のため、「福祉の受け手から担い手」を目指して、特に女性会員の拡大、育成を図りセンターの役割を十分検討しながら少子高齢社会に対応すべく積極的な事業展開を図ります。

(4) 会員数拡大の強化

シルバー人材センターの根幹をなす会員数を確保するため、高齢者の雇用情勢を見極めながら、今年度も会員拡大を最重要課題とし、減少傾向にある会員数を増加させるため、会員増強奨励制度を展開し会員による口コミを活用し会員拡大を推進します。多種多様な就業依頼に対応できるよう、センター理念に賛同し、自己の知識・経験を活用し、就業を通じて社会参加と生きがいづくりを希望する高齢者の獲得に努めます。

(5) 組織体制の強化

公益社団法人として組織体制を更に強化するため、センターの自主性・主体性を基本に理事会をはじめ各種委員会等の有機的な活動の推進を図りながら、より公正で公平な事業運営に努めます。また、黒石市、連合会、ハローワーク等、関係機関との連携を密にし、地域ニーズに応え信頼を高めるため、会員の就業意欲と共同・共助の連携意識のもと、会員相互の親睦と融和を図りながら組織の強化に努めます。